The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	TA (Teaching Assistant) の声　サイバーメディアフォーラム no.17　情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2016, 17, p. 39-39
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70412
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

TA(Teaching Assistant)の声

TAの感想

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

陶　涛
（情報科学研究科　情報システム工学専攻）

私は2016年度前期、文学部の情報活用基礎のTAを担当しました。講義では、ホームページの作り方や、Excelの表計算方法、コンピューターとインターネットの仕組み、簡単なプログラミングなどの情報知識を中心としたものでした。

文学部の学生は大学に入学する前、あまりPCに触る機械が多くないと思いますが、文系の学生なので、大学では、コンピューターで文章を書くなど、チャンスがすごく多いと思います。特にプログラミングの授業では、講義に書いた手順を真似して作業するだけじゃなく、講義に答えがないチャレンジ課題も結構あります。この授業で学んだ知識は受講生の皆さんの今後の勉強や仕事にすごく役に立つと思います。

留学生として、私はこのTAの役を通して、大変有意義な経験をさせていただきました。TAでは、日本語の練習はもちろん、どうやってわかりやすくまとめて説明するかなど、人とのコミュニケーション能力もすごく勉強になりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

劉　安世
（情報科学研究科　情報システム工学専攻）

私は2016年度前期、基礎工学部の情報活用基礎のTAを担当しました。講義は、HTMLで自分のウェブを作り、LaTeXの入門操作紹介、C言語の基礎使いといった内容を中心したものでした。

この授業ではコンピュータにまったく触れたことのない学生でも基礎的な操作スキルを習得できます。例えば、ウェブプログラミングの講義ではたった1行のプログラムで背景の画像を設定したり、雪が舞うシーンのアニメーションを表示したりできます。これらのビジュアルな課題をこなすことで、段階的に知識を得られるだけでなく、コンピュータの素晴らしさを実感できます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊